

| | | | | | | |
|-------------------|--|---|------|---------------|-----|---------------|
| 授 業 科目名 | 【Gカリキュラム】 プレゼミⅡ 【EFカリキュラム】 プレゼミⅡ | 必修 | 開講年次 | 【G】1 【EF】1 | 単位数 | 【G】2 【EF】2 |
| 科目区分 | 専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-） | | | | | |
| 担当形態 | 単独 | 【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 | | | | |
| 施行規則に定める科目区分又は事項等 | | | | | | |
| サブタイトル | 大学での法学の学び方を身につけよう | | 担当者 | 青木 隆 | | |
| 授業概要 | <p>【概要】 前期の学修を受けて、並行して開講される法律学の科目をより効果的に受講し、必要な知識や考え方を身につけるための訓練を行います。</p> <p>【到達目標】 各法概論という法律学の入門的な科目の受講を素材にして、それぞれの講義内容の把握、理解そして再現が容易にできるようになること。</p> | | | | | |
| 履修条件 | 正規の登録手続きを経ること | | | | | |
| 教科書・ 参考書 | <p>【教科書】 ポケット六法本年版は必携です。</p> <p>【参考書】 必要に応じて配布または指示します。</p> | | | | | |
| 授業回数 | 授業内容 | | | | | |
| 授業内容 | <p>各履修者に受講する専門科目の内容に関する報告や疑問点の点検を求め、それに関する討議等により、全員が各科目内容の理解を深め、それぞれの特徴等を把握するよう、対話形式で演習を進めます。</p> <p>取り上げる具体的なテーマ等については受講者の希望等も勘案して適時決定していきます。</p> | | | | | |
| 予習 復習 内容 | 毎時限に課される課題に関する準備（予習）とその反芻と理解（復習）を行って下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 受講姿勢（30%）と学修効果（30%）、課題達成（40%）による平常点評価。 | | | | | |
| 評価基準 | 各回に必要な準備をして出席し、積極的に討論等に参加して、学修内容を理解し、その展開ができることを示したと認められる場合に「A」（このうち特に優れたものには「S」）、理解や表現に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」とし、出席状態や内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」（ともに不合格）とします。（度重なる欠席、居眠り等により評価不可能な場合には「F」とする。） | | | | | |
| その他 | <p>「わかりません」は答えではありません。</p> <p>※G 刈：法【必修】 刈°【必修】 情【必修】／EF 刈：法【必修】 刈°【必修】 経【必修】</p> | | | | | |